

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	地理総合				
科目コード	2011	科目区分	地理歴史	単位数	2
学習教材	教科書『地理総合』（東京書籍）				
担当教員	高橋正浩 村田一恵 野口真敬 末永謙三				

目標
地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察した地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前期	1		多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考える。 GISが幅広い分野で使われていることについて理解し、私たちの生活への影響を考える。	教科書 第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割 教科書に基づいたレポート学習。	地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けているか。
	1		国境をこえた経済活動や政治的なつながりが、人・モノ・情報などのやり取りに大きく影響を及ぼしていることに着目し、現代世界におけるグローバル化の進展について課題意識をもって考察する。	教科書 第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会 第3章 資料から読み取る現代世界 教科書に基づいた講義。	交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。
	2		通信情報技術（ICT）の発達について理解し、通信網の発達による生活の変化と生じた課題について考える。	教科書 第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様化と国際理解 教科書に基づいたレポート学習。	グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結び付きが強まっていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしているか。

	3		地域によって文化が異なる理由について理解する。文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解する。	教科書 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 2節 生活文化と自然環境① 3節 生活文化と自然環境② 4節 生活文化と産業 教科書に基づいたレポート学習。	文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
後期	4		環境問題の発生が、人間の活動によって引き起こされていることを理解し、解決に向けた取り組みを考える。資源・エネルギー問題、人口問題などの世界的課題が自身の生活と密接に関係していることを理解する。	教科書 第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題 3節 人口問題 教科書に基づいたレポート学習。	各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
		2	地球規模で取り組むべき課題が、相互に関連しあっていることを理解する。	教科書 第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 7節 持続可能な社会の実現をめざして 教科書に基づいた講義。	地球規模で起きている課題とさまざまな形で行われている国際協力に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。
	5		食糧問題、居住・都市問題などの世界的課題が自身の生活と密接に関係していることを理解する。難民が発生する原因や、民族問題の背景について考える。地球規模で取り組むべき課題が相互に関連しあっていることを理解する。	教科書 第2編 国際理解と国際協力 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 4節 食糧問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして 教科書に基づいたレポート学習。	各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。

	6	日本の地形の特徴が河川や海岸の特徴にどのような影響を与えているかを理解する。 これまでの災害の教訓を生かし、自助・共助に関して、どのような対策を講じていくべきかを考える。 身近な地域の情報を得るためのさまざまな手段と注意点を理解する。	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望 教科書に基づいたレポート学習。	日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。
--	---	--	---	---

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を身に付け、考察、構想したことを効果的に説明している。	地理に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	地理探究				
科目コード	2012	科目区分	地理歴史	単位数	4
学習教材	教科書『新詳地理探究』（帝国書院）				
担当教員	高橋正浩 村田一恵 野口真敬 末永謙三				

目標
① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付ける。 ② ①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。 ③ ①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付ける。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
	1		地球規模の大地形や、河川が形成した小地形などのさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているのかを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 地形 教科書に基づいたレポート学習。	地球規模のさまざまな地形には、どのような特徴や成因があり、人間活動とどのように関わっているかについて追究しようとしている。
	2		気候の違いがどのような要因で生まれるかについて理解し、人々の生活にどのような影響を与えているのを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 2節 気候 教科書に基づいたレポート学習。	気候について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3	1	地球上に発生している、さまざまな環境問題を解決して、地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには、どのような考え方で、どのような取り組みをすればよいのかを考察する。 農林水産業は、自然条件の影響を受けるとともに、社会条件の変化に伴って変容してきたことと、分布や発達に、どのような傾向や規則性がみられるのかを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題 第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食糧問題 教科書に基づいたレポート学習および講義。	地球環境問題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
4	2	世界のエネルギー・鉱産資源は、どのようにして生活や産業に利用され、生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているのかを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 3節 エネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 教科書に基づいたレポート学習および講義。	エネルギー・鉱産資源について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
5		世界の工業はどのように発展し、現在はどのような工業分野や地域が中心となり、どのように変わろうとしているのかを考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 5節 工業 教科書に基づいたレポート学習。	工業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

	6		第3次産業の現状について理解する。 交通網や通信網の発達には、傾向や地域性、地域間格差が現れていることについて考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 6節 第3次産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏 教科書に基づいたレポート学習。	第3次産業、交通・通信について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	7		人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第4章 人口、村落・都市 1節 人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題 教科書に基づいたレポート学習。	人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	8	3	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 民族や宗教の独自性はどのようにとらえることができ、各地にみられる民族問題の背景とどのように関わっているのかについて考察する。	教科書 第1部 現代世界の系統地理的考察 第5章 生活文化、民族・宗教 1節 衣食住 2節 民族・宗教と民族問題 3節 国家の領域と領土問題 教科書に基づいたレポート学習と講義。	生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

後 期	9	東アジアの諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。	教科書 第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 1節 中国 2節 韓国 3節 ASEAN諸国 教科書に基づいたレポート学習。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	10	西・中央アジアの諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。	教科書 第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 4節 インド 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 教科書に基づいたレポート学習。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
	4	我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。	教科書 第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 教科書に基づいた講義。	持続可能な国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。
	11	ヨーロッパの諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。	教科書 第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 7節 EU諸国 8節 ロシア 教科書に基づいたレポート学習。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

	12	アメリカ、オセアニアの諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。	教科書 第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 現代世界の諸地域 9節 アメリカ合衆国 10節 ラテンアメリカ 11節 オーストラリアとニュージーランド 教科書に基づいたレポート学習。	現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
--	----	--	---	---

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
地理的諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	地理的諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	地理的諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めることができるか。

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	歴史総合				
科目コード	2013	科目区分	地理歴史	単位数	2
学習教材	教科書『新選歴史総合』（東京書籍）				
担当教員	高橋正浩 村田一恵 野口真敬 末永謙三				

目標
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を養う。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
前	1		18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	教科書 第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国 教科書に基づいたレポート学習。	近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。
		1	中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	教科書 第2章 近代化と私たち 3節 国民国家と明治維新 教科書に基づいた講義。	近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、中学校までの学習も振り返りながら課題を追究しようとしている。

期	2		国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	教科書 第2章 近代化と私たち 3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題 教科書に基づいたレポート学習。	近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
	3		第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。	教科書 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会 教科書に基づいたレポート学習。	・国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
	4		第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	教科書 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 教科書に基づいたレポート学習。	国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。

後 期	2	第二次世界大戦の勃発とその拡大、および日中戦争との結びつきについて理解する。	教科書 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 3節 経済危機と第二次世界大戦 教科書に基づいた講義。	第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
	5	地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。	教科書 第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済 教科書に基づいたレポート学習。	グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
	6	アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。	教科書 第4章 グローバル化と私たち 3節 世界秩序の変容と日本 教科書に基づいたレポート学習。	グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。

評価

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
--------	--------------	----------------

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
--	--	---

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	日本史探究				
科目コード	2014	科目区分	地理歴史	単位数	4
学習教材	教科書『日本史探究』（東京書籍）				
担当教員	高橋正浩 村田一恵 野口真敬 末永謙三				

目標
① 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ② 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③ 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
	1		旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立に至る時期の日本列島の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて時代の転換を理解し、先史社会の特色や古代の国家や社会との関わりについて多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	教科書 第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形式と展開 教科書に基づいたレポート学習。	先史・古代の日本と東アジアに関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。

2	1	律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。	教科書 第1編 先史・古代の日本と東アジア 第3章 古代社会の形式と展開 2節 摂関政治と貴族文化 教科書に基づいたレポート学習と講義。	貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。
3	2	武士の社会進出と平氏政権の誕生、およびその時代の外交と文化の特色について理解する。	教科書 第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 教科書に基づいたレポート学習と講義。	中世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。
4		鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての幕府と朝廷の動きについて理解する。	教科書 第2編 中世の日本と世界 第3章 中世社会の展開 2節 武家支配の広がりと国際交流 教科書に基づいたレポート学習。	武家支配の広がりや国際交流に関わる問いをふまえて、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
5		近世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、近世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	教科書 第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展望 教科書に基づいたレポート学習。	近世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究しようとしている。

6		幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。	教科書 第3編 近世の日本と世界 第3章 近世社会の展望 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺 教科書に基づいたレポート学習。	18世紀にはどのような社会の変化がみられたのだろうかなどの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。
7		幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 教科書に基づいたレポート学習。	明治維新、文明開化の風潮、学問の発展や教育制度の拡充、自由民権運動などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解している。

後期	8	立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展望 1節 近現代制度の導入と新しい国際秩序 2節 国民国家と資本主義の成立 教科書に基づいたレポート学習。	大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、産業革命の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。
	9	両大戦間期の日本の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展望 3節 両大戦間期の日本 4節 第二次世界大戦と日本 教科書に基づいたレポート学習。	恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治社会、国民生活の変容を理解している。

10	3	「第二次世界大戦と日本」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展望 5節 占領と改革 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 教科書に基づいたレポート学習。	占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解している。
11		近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、現代の政治や社会の枠組みを理解する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第3章 近現代社会の展望 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 8節 新しい国際秩序と日本の課題 教科書に基づいたレポート学習。	近現代の地域・日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。
12	4	持続可能な社会の実現を視野に入れ、地域社会や身の回りの事象と関連させて主題を設定し、諸資料を活用して探究する活動を通して、現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について、多面的・多角的に考察する。	教科書 第4編 近現代の地域・日本と世界 第4章 現代の日本の課題の探究 教科書に基づいたレポート学習と講義。	先史・古代、中世、近世、近現代の学習を振り返り、自身との関わりをふまえて、持続可能な社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。

評価

①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
--------	--------------	----------------

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切に効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
--	--	---

令和7年度 学習指導計画

授業科目名	世界史探究				
科目コード	2015	科目区分	地理歴史	単位数	4
学習教材	教科書『世界史探究』（東京書籍）				
担当教員	高橋正浩 村田一恵 野口真敬 末永謙三				

目標
① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習計画					
前後期	レポート	スクーリング	学習のねらい	学習内容・方法	評価のポイント
	1		各地域の古代文明について、その共通点や相違点、それらが自然環境とどのように関係しているかなどについて理解する。 西アジアと地中海周辺の国家がどのように影響を及ぼしあい、どのような共通点をもっているかについて理解する。	第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺 教科書に基づいたレポート学習。	「古代文明の出現」・「西アジアと地中海周辺」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	2		南アジア地域を特徴づける「多様ななかの統一」とはどのようなことなのかなどについて理解する。東南アジア地域における国家形成が交易や思想・文化とどのように関係しているのかなどについて理解する。	第1編 諸地域の歴史的特質 第3章 南アジア 第4章 東南アジア 教科書に基づいたレポート学習。	「南アジア」・「東南アジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

前期	3	1	東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか、また古代国家の誕生と発展が社会と文化に与えた影響や、それによって生みだされた地域の特色について理解する。 ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について、自然環境との関わりに注目しながら理解する。	第1編 諸地域の歴史的特質 第5章 東アジアと中央ユーラシア 第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ 教科書に基づいたレポート学習および講義。	「東アジアと中央ユーラシア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について、自然環境との関わりに注目しながら、学習への見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	4		アジア・アフリカの広大な地域が、イスラーム文明圏としてまとまった理由などについて理解する。 9世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパ世界ではどのような政治、経済、社会、文化の変動がおこったのか、また、それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されていったのかなどについて理解する。	第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ 教科書に基づいたレポート学習。	「イスラーム世界の拡大と繁栄」・「中世ヨーロッパ」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	5		歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国はどのようにして生まれ、どのように世界を結びつけたのかなどについて理解する。 インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりが一様でなかった要因などについて理解する。	第2編 諸地域の交流と再編 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化	「中華世界の変容とモンゴル帝国」・「インド洋海域世界の発展と東南アジア」・「大交易時代と世界の一体化」の内容に対して 見通

	6	2	16 世紀から 18 世紀にかけて、アジア諸地域に成立した諸帝国が比較的安定した社会を維持できたのはなぜか、また経済的繁栄はどのようにもたらされたのかなどについて理解する。 16 世紀から 17 世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家には	第 2 編 諸地域の交流と再編 第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 教科書に基づいたレポート学習および講義。	「ユーラシア諸帝国の繁栄」・「主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	7		18 世紀半ばから 19 世紀半ばにかけて、欧米で産業革命や、国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか、また、このような変革は、現代までどのような影響を与えているのかについて理解する。	第 3 編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成 教科書に基づいたレポート学習。	「国民国家と近代社会の形成」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	8		産業革命で先行したイギリスが 19 世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し、後発のヨーロッパ諸国はどのように対応したのか、また、ヨーロッパ発の工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかについて理解する。 アジア諸国が自国の危機をどのように	第 3 編 一体化していく世界 第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 教科書に基づいたレポート学習。	「世界市場の形成とアジア諸国の変容」・「アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
後期	9		第一次世界大戦は、なぜ「世界大戦」とよばれ、それまでの戦争とどのような点において異なるのか、そして、それぞれの地域において戦争の経験はどのような意味をもったのかなどについて理解する。 世界恐慌は、経済や政治をどのようにに変化させたのか、また、その	第 3 編 一体化していく世界 第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 教科書に基づいたレポート学習。	「第一次世界大戦の展開と諸地域の変容」・「国際協調体制の動揺と第二次世界大戦」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
	10	3	第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と実際のアジアの戦後は、どのような点が連続し、あるいは異なっていたのかについて理解する。	第 3 編 一体化していく世界 第19章 第二次世界大戦と戦後のアジア 教科書に基づいたレポート学習および講義。	「第二次世界大戦と戦後のアジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

11		冷戦のもとで、世界の平和はどのように模索されたのか、また、冷戦は世界に広がるなかで、それぞれの地域でどのような意味をもったのかについて理解する。 冷戦の変容にともない、アメリカ合衆国の経済覇権はどのように動揺したのか、また、その後が生じた経済	第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 教科書に基づいたレポート学習。	「冷戦の世界化と国際制度」・「冷戦の変容・終結と経済のグローバル化」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。
12	4	21世紀に入り、地球上ではどのような問題が生じ、人類社会はどのような課題に直面し、それを克服しようとしているのかについて、これまでの歴史をふまえ、その課題に取り組む当事者として考える。	第4編 グローバル化と地球的課題 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会 教科書に基づいたレポート学習および講義。	「21世紀の地球的課題と人類社会」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。

評価		
①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。